

## 政策評価調書(元年度実績)

政策名	活力と変革を創出する産業の振興	政策コード	Ⅱ-2	関係部局名	商工観光労働部、農林水産部
-----	-----------------	-------	-----	-------	---------------

### 【Ⅰ. 政策の概要】

中小企業・小規模事業者の持続的発展に向けた伴走型支援や創業支援の強化、サービス産業の生産性向上支援、先端技術を活用した地域課題の解決や新ビジネスの創出、大分県版第4次産業革命“OITA4.0”を支える人材育成、戦略的な企業立地の推進と地域の強みを活かす産業集積の深化等による産業振興を図る。

### 【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	チャレンジする中小企業と創業の支援	概ね達成	B
2	商業の活性化とサービス産業の革新	達成	A
3	先端技術への挑戦 ～大分県版第4次産業革命“OITA4.0”の推進～	達成	A
4	未来に向けた戦略的・効果的な企業立地の推進	達成	A
5	多様で厚みのある産業集積の深化	概ね達成	A

### 【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

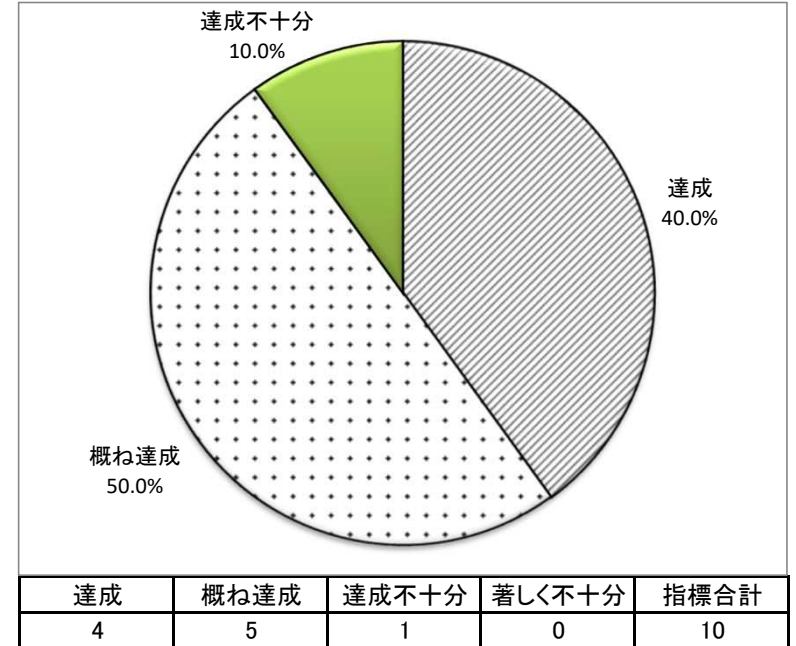
IoT、AI、ロボット、ドローン等の先端技術の普及や少子高齢化・人口減少による国内需要の変容、消費者ニーズの変化、多様な生き方や働き方の価値観の広がり、さらには新型コロナウイルス感染症の影響など、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は大きく変化しており、事業者へ寄り添った伴走型支援の提供、支援機関の機能強化や関係機関との連携の促進を図る必要がある。

劇的な速さで進歩を続け、あらゆる分野に広がっている先端技術に積極的に対応し、地域課題の解決につなげるとともに、ドローンの活用と産業化、アバター産業や宇宙産業など新ビジネスの創出、さらには大分の次代を担う新たな産業の育成を目指し、大分県版第4次産業革命“OITA4.0”を推進する必要がある。

コロナ禍によって、暮らしや仕事の場をできるだけ分散し、情報通信網で結びつける暮らし方、働き方が重要な選択肢となりつつある。このような新たな潮流をしっかりと受け止め、オフィス系企業やサテライトオフィスの誘致を進めるとともに、コワーキングスペースの確保を促進する必要がある。

東九州メディカルバレー構想のさらなる推進により、今後、高い成長と雇用の創出が見込まれる医療・看護・介護・福祉分野への参入を支援するほか、様々な業種において、県内外の大企業や大学、研究機関などとの連携を促進し、先端技術を活用した生産性向上や製品開発、販路開拓を支援する必要がある。

### 【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



### 【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—